

2015年2月1日

毎日新聞に掲載

## 下関の未来を テーマに講演

薬谷浩介さん

周南市出身で、ベストセラー「里山資本主義」で知られる日本総研調査部主任研究員、薬谷浩介さんが31日、下関市の市社会福祉センターで「終のすみかの地・下関をどうしたいのか？未来の子供達のために」と題して講演した。薬谷さんは下関市の将来について、人口減少が続く一方で高齢者の増加は落

ち着くと指摘した。

薬谷さんは下関、福岡、東京の人口構成の推移をグラフで示し、「福岡も東京も今後増えるのは医療や福祉が必要な高齢者だ」とした上で、「先に人口が減っている下関は、高齢者が増えないだけ実は希望がある」と述べ

た。そのうえで「努力している地域に学びながら、若者が戻り母親が安心して子供を産める社会づくりに力を注ぐべき」と語った。

講演は、高齢社会をよくする下関女性の会（田中隆子会長）が主催した。

【平川昌範】



下関の将来について語る薬谷さん